

教 教育・発達心理学

Educational-Developmental Psychology

OGURI Takahiro
小栗 貴弘

科目ナンバリング：USE-1-151-04/UTL-1-301-06

**■授業の目的及び到達目標**

教員の基本的な資質としての人間理解の基礎となる発達や学習について理解することを授業の目的とする。具体的には、人間の生涯における発達の過程とその特徴、学習に関する基礎的知識や指導に必要な基礎的な考え方を理解することである。授業の到達目標は、人間の発達の概要及び学習に関する基本的知識や学習活動における指導の基本的な考え方を理解することである。

■授業計画

- 1 教育心理学、発達心理学とは何か
ガイダンスとして、科目概要、受講態度、成績評価等について説明する。
- 2 発達とは何か
人間の誕生から幼児期までの身体的・心理的発達について考える。
- 3 発達段階と発達課題
エリクソンの発達理論にもとづいて各時期の発達段階と発達課題について学ぶ。
- 4 身体と運動機能の発達
人間の運動機能の特殊性、身体発達における個人差と性差などについて学ぶ。
- 5 言葉の発達
話し言葉の起源、前言語期、話し言葉期、書き言葉期、発声に関する障害について学ぶ。
- 6 発達障害の理解と支援①
特別支援教育の概念および限局性学習症、ADHDに特徴的な学習の形態や支援などについて学ぶ。
- 7 発達障害の理解と支援②
自閉スペクトラム症に特徴的な学習の形態や支援および障害児の就労支援などについて学ぶ。
- 8 認知・記憶の発達
ピアジェの認知発達理論、概念形成、記憶の発達、学習方略について学ぶ。
- 9 社会性の発達
子どもの社会性の発達、愛着の形成、人間関係の発達に教師が関与する方法などを学ぶ。
- 10 動機づけの理論
動機づけとその種類、動機づけの理論、動機づけが高まる時・下がる時、原因帰属を学ぶ。
- 11 知能の発達
知能の概念、知能の測定、知能テストと知能指数 (IQ)、知能の発達などについて学ぶ。
- 12 学習の理論①
オペラント条件づけについて学ぶ。
- 13 学習の理論②およびまとめ課題 (期末レポート)
レスポナント条件づけについて学ぶ。

■授業の方法

Teams による PDF 資料の配信と課題 (小テストや期末レポートなど) の提出、Stream による動画の配信を用いたオンデマンド型授業を行う。質問は Teams のチャット機能、あるいは E メールにて受け付ける。

■予習・復習

予習は、教科書の当該授業の単元に予め目を通し、基本用語をしっかりと整理しておくこと。
復習は、各回で学んだところをもう一度教科書で確認し、ノートを見直し、必要と思われる事項を書き加えること。

■成績評価の方法 (成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)

期末レポート (40%)、小テスト (40%)、授業参加度 (20%) などを総合的に評価する。
小テストについては、翌週にフィードバックとしての振り返りを行う。

■教科書・参考書

教科書：桜井茂男、『楽しく学べる最新教育心理学』および『楽しく学べる最新発達心理学』, 図書文化
参考書：適宜紹介する。

■関連する科目

教職課程の科目 (「基礎資格科目」「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「大学が独自に設定する科目」) および「心理学A」「心理学B」。

■当該科目の実務経験 (該当する場合のみ記載)

公認心理師・臨床心理士としての実務経験に基づき、子どもの発達支援・学習支援の事例について授業中に紹介する。